

貧酸素水塊速報 (2018年)

【発行】 ○ 千葉県水産総合研究センター
 ○ 神奈川県水産技術センター
 【協力】 千葉県環境研究センター
 第三管区海上保安本部
 ○ モニタリングポスト(海上保安庁, 国土交通省 関東地方整備局)
 千葉県農林水産技術会議
 内湾底びき網研究会連合会
 ○ 東京都環境局
 (国) 国立環境研究所
 (今回の速報は“○”の機関の観測データを使用して作成しました)

平成30年7月2日観測結果

貧酸素水塊は、川崎人工島北から横浜港沖にかけての水深20～30mの海域に分布しています(図1)。一方、湾奥では貧酸素水塊は確認されませんでした。

縦断ラインにおける鉛直分布をみると、貧酸素水塊は海底付近に認められますが、小規模です(図2, 3)。

水温は表層22～27℃、底層17～24℃と水温差が大きくなっています。

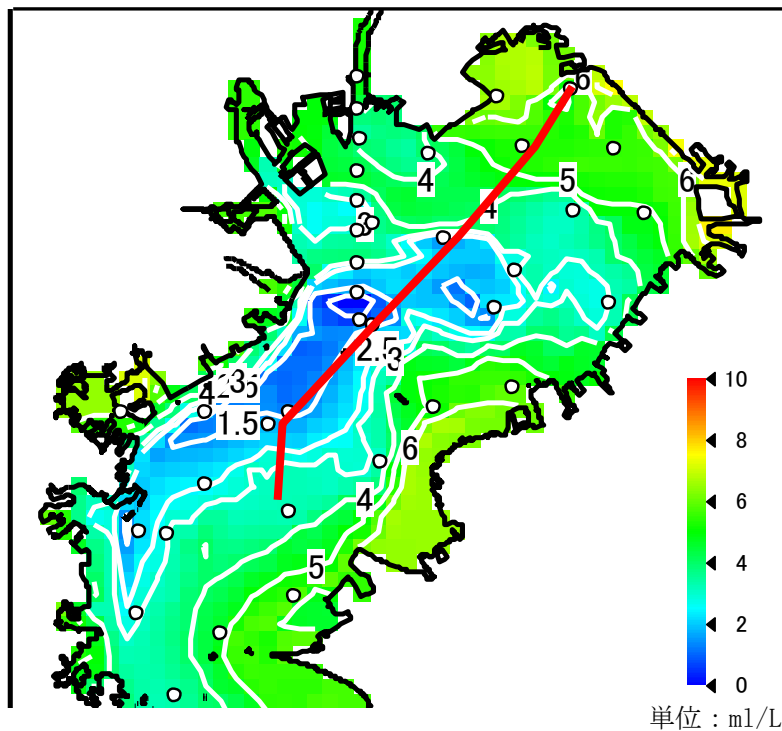


図1 底層の溶存酸素量分布(赤線は縦断ライン)

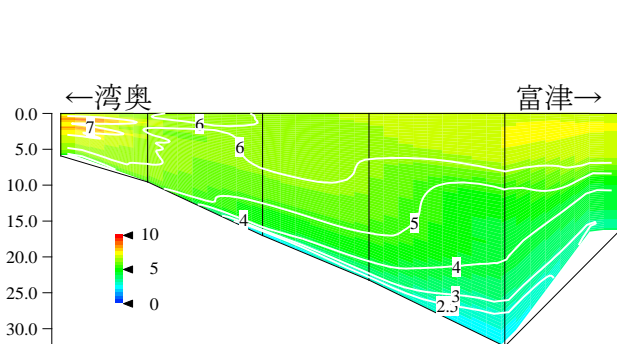


図2 縦断ラインでのDO鉛直分布

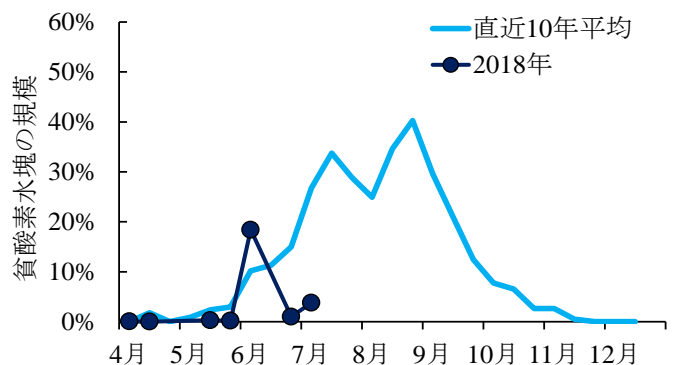


図3 貧酸素水塊の規模
(左図で貧酸素水塊(2.5ml/L以下)が占める割合)